

CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学
学報

JANUARY
2014
NO. 102

contents

年頭所感

立石 暁 理事長「新たな進化への第一歩」

NiAS TIMES

話題人 サイクリング部主将 田口真也さん

大学サッカー部の活躍

附属高等学校ニュース

全国高校サッカー選手権大会出場 他

公開講演会 開催報告

NiAS Reborn

2学部2学科8コース制 START!

新入教職員紹介

Information

入試案内

CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学学報 No.102 2014年(平成26年)1月
編集・発行 長崎総合科学大学 入試広報課 〒851-0193 長崎県長崎市網場町536 ☎0120-801-253 <http://nias.jp/>

2014(平成26年度)入試のご案内

■大学入試案内

Information

項目	一般入試			センター試験利用入試			AO入試 AO特待生入試
	I期	II期	III期	I期	II期	III期	
出願期間 (消印有効)	1/6(月) 1/27(月)	2/17(月) 3/7(金)	3/10(月) 3/20(木) 必着	1/6(月) 1/31(金)	2/17(月) 3/7(金)	3/10(月) 3/24(月) 必着	9/2(月) 3/14(金)
試験日	2/1(土)・2/2(日)	3/12(水)	3/23(日)	—	—	—	随時
合格発表日	2/10(月)	3/17(月)	3/27(木)	2/10(月)	3/17(月)	3/27(木)	2/10(月)、2/24(月) 3/17(月)、3/27(木)
試験科目等	2科目 ◎1時間目/国語(国語総合) ※古文・漢文を除く 理科(物理I+II) (化学I+II) (生物I+II) ◎2時間目/数学 ◎3時間目/外国語 (英I+英II) (リーディング)		数学および面接 ◎1時間目/数学 ◎2時間目/面接	3科目 1. 国語(国語)(国語のうち近代以降の文章) 2. 地理歴史・公民 (世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現代社会) (倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」) 3. 数学①(数I、数I・数A) 4. 数学②(数II、数II・数B、工業数理基礎、情報関係基礎) 5. 理科 (理科総合A、理科総合B、物理I、化学I、生物I、地学I) 5. 外国語(英、独、仏、中、韓) [英語はリスニングを含む]			面接(個別) 志願理由書 (出願時提出) ※600字~800字
試験場	本学、佐世保、五島 対馬、那覇、鹿児島 宮崎、大分、熊本 佐賀、福岡、松山 広島、大阪、東京	本学、鹿児島 福岡、広島 大阪、東京	本学	—	—	—	原則として本学
検定料	28,000円			13,000円			30,000円

■大学院入試案内

工学研究科 修士課程/博士課程

■附属高校入試案内

平成26年4月入学者(二次募集)	
願書受付期間	2/13(木) ▶ 2/21(金)
学力試験 (修士課程のみ)	3/4(火)
面接	3/5(水)
試験場	本学(詳細は受付後通知)
合格発表	3/11(火) 13:00 大学院掲示板
入学検定料	30,000円

一般入試[一次試験]			一般入試[二次試験(専願)]	
試験種別	一般試験 A特待試験 B特待試験	試験種別	一般試験	
出願期間	1/6(月) ▶ 1/20(月)	出願期間	3/17(月) ▶ 3/19(水)	
試験日	1/22(水)	試験日	3/20(木)	
会場	本校	会場	本校	
試験科目	国・英(リスニング有り)・数・集団面接	試験科目	国・英(リスニング無し)・数・個人面接	
合格発表	1/24(金)	合格発表	3/20(木)	
受験料	12,000円	受験料	12,000円	

期待生 ■大学特待生A制度

28名以内
**国立大学より
安い学費**
学力、人物の優秀なものに対して
授業料4年間免除
※一般入試(III期)は除く
※成績不良等で資格取り消し有
**センター試験利用入試
または一般入試にて選考**

表紙のはなし

今号の表紙は人間環境学科の岩崎真也さん(4年生、長崎県/長崎総合科学大学附属高校出身)、野口千紗さん(2年生、長崎県/海星高校出身)、江里和仁さん(2年生、福岡県/柳川高校出身)の3人に協力していただき、昨年新設された学生談話室の様子を撮影しました。
学年をこえてとっても仲が良く、楽しく充実したキャンパスライフを過ごす3人の笑顔が素敵な1枚です。



編集後記

「パスは未来へ出せ!過去にでも、現在にでもなく!」サッカーの名古屋グランパス元監督のベンゲル氏が選手たちに言った言葉です。横パスは現在、バックパスは過去を意味し、現状に甘んじず、過去への郷愁に浸らず、常に「未来」を意識して、ひとつひとつのことを「未来」につなげるものとして行っていくことが大切なのだと感じる言葉です。
「NiAS Reborn 元年」となる今年。学生・生徒にとって、そして地域にとって「未来へのパスを出し続ける学園となるよう、未来への努力を続ける!」年末年始の高校サッカーを見て、そういう年にしたいと心に誓った初春でした。(I&T)

学校法人
NiAS 長崎総合科学大学
Nagasaki Institute of Applied Science



このQRコードで
本学モバイルHPにアクセスできます。

学校法人
NiAS 長崎総合科学大学
※NiAS(ニアス)は、大学の英文名
Nagasaki Institute of Applied Scienceの略称です。

新たな進化への第一歩

学校法人
長崎総合科学大学理事長
立石 暁

新年明けましておめでとうございます。この1年が、皆様お一人おひとりにとり、幸多き年になることを心より祈念いたします。今年、本学にとって、大変重要な節目の年になります。

今年4月から、これまでの学部学科を大きく改編、新たに、コース制を導入することとし、2学部2学科8コース制がスタートします。新しい時代に合ったものづくりの知恵と技術を、より深く、より広く学ぶためには、従来の学科に縛られない柔軟な教育システムとして「コース制」が最適と考えたからです。

今日、国際社会は、激動と急速な変貌を続けており、産業界や企業が、大学に求める学生像も大きく変化しつつあります。

本学が、これまで、県内唯一の理工系私立大学として築いてきた「ものづくり大学」としての伝統と特色を最大限に生かしながら、今後も、日本の科学技術の進展を牽引し、産業界からの要請に応えることのできるグローバル人材を養成していくためには、新たな進化の道に進みを進め、新時代に適応できる姿に生まれ変わる必要があります。

まさに今、「NiAS Reborn」を成し遂げなければなりません。このため、現在、法人役員・教職員全員が一丸となって、今回の改組・コース制導入に伴って必要となる大学・事務局組織の改編、各種規程の改正、キャンパス再配置などに全力で取り組み、4月始動に向け、着々と準備を進めているところです。

しかし、こうした改革を進めるためには、本学教職員の努力だけでは、十分ではありません。やはり、地元経済界、行政、地域の方々、本学同窓会はじめ卒業生の皆様など、多くの方々の継続的なご協力とご支援が何より重要になってまいります。

今後とも、皆様の倍旧のお力添えを心からお願い申し上げます。

グリーンヒルキャンパスから雲仙岳を望む

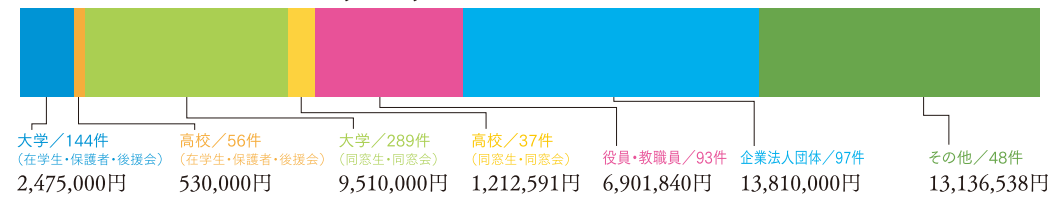
創立70周年 記念事業報告

本学園は昨年度、学校法人創立70周年、附属高等学校創立50周年の節目の年を迎えることが出来ました。

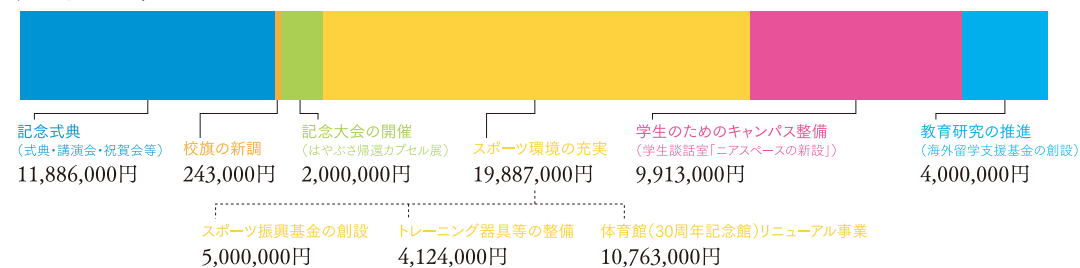
記念募金は、平成23年4月から平成25年3月までの2年間、実施しました。おかげさまで、卒業生、在学生ご父母、教職員、本学卒業生の勤務する企業等の皆様から総額47,575,969円の寄付金を頂戴することができました。ありがとうございました。

この寄付金により、記念事業を実施し、記念行事の開催やキャンパス内の施設・設備の整備などを行いました。

寄付金等 / 764件 47,575,969円



記念事業



70周年記念式典



学生談話室「ニアスペース」の新設



体育館リニューアル事業



はやぶさ帰還カプセル展



新艇ヨットの購入



野球ピッチングマシンの購入

トレーニング器具の整備

TOPICS 1

知能情報学科の
学生グループが
情報誌を発刊!

情報学部知能情報学科のデザインサークル「Softy」(代表…吉田俊樹さん4年生)のメンバー7人が、この度、本学学生向けの情報誌「にあすた」を発刊しました。

学生自らが企画・編集、取材、デザインをメンバーで分担して行い、約3ヶ月かけて仕上げ、内容も学生食堂の活用術など学生の視点からの工夫が凝らされています。

制作したメンバーは「スケジュール管理や紙面の配置など制作過程で苦労したが、実際にカタチになって達成感を味わうことが出来た」「周囲からも反響があったので、今後もさらに内容を充実させながら継続して発行していきたい」などと語ってくれました。



学生が制作した情報誌



制作したSoftyの皆さん

TOPICS 2

「青少年のための
科学の祭典」に出展

「青少年のための科学の祭典2013第17回長崎大会」が10月19日、20日の2日間、長崎市科学館で開催され、本学学生と教職員が出展し、子供たちに科学の面白さを伝えました。

「青少年のための科学の祭典」とは、体験や体感、展示をとおして、科学のおもしろさや楽しさを紹介し、参加者と共有することをめざした全国的な活動。本学が出展したブースにも子供たちが大勢訪れ、学生や教員の指導のもと、熱心に工作や実験に取り組んでいました。



ロボットであそぼう!



超音波診断装置で金魚を見てみよう!!

TOPICS 3

船舶工学科、
人間環境学科の
学生と教員が
「ながさきエコライフ
フェスタ2013」で活躍

「だれでもいつでもかんたんにエコライフ!」がテーマの「ながさきエコライフフェスタ2013」が10月19日、長崎水辺の森公園で開催されました。本学からは工学部船舶工学科と環境・建築学部人間環境学科が企画参加し、会場のあちこちから本学の学生や教員が活躍し、市民との交流を深め環境の大切さを伝えました。



大きな木の下で工作教室



2人乗りソーラーボートの子ども向け試乗会

TOPICS 4

【収穫の秋】
シーサイドキャンパスで
稲刈り

シーサイドキャンパスの学術フロンティアセンター(22号館)前の田んぼで10月16日、環境・建築学部人間環境学科と大学院の学生9名、日見小学校の4年生57名で稲刈りが行われました。

これは稲の成育や有機農業に関する基礎研究、環境にやさしい栽培管理法などを学び環境教育を実践するのが目的で、小学校と共同で例年実施しています。

小学生は怪我をしないように指導を受けながら稲刈りを楽しみ収穫の秋を実感し、大学生は小学生の様子を見守り、刈った稲を束ねて農機で脱穀する作業をしました。

参加した小学生は「楽しかった」「稲を切るのが難しかった」「足がぬかるんで気持ち悪い」「カエルがいた」と楽しそうに語ってくれました。



小学生と一緒に稲刈りを実施

TOPICS 5

学園祭「造大祭」を
開催しました

11月2日、3日の2日間、学園祭「第50回造大祭」を開催しました。シーサイドキャンパスでも「第8回シーサイドフェスティバル」を同時開催しました。

お笑い芸人のなかやまきんに君さんと長崎亭キョちゃんばんばんのお笑いライブや、学生が運営する模擬店、ピニング大会、音楽系サークルの学生ライブ、スタンブラー、各学科やサークルによる展示などが実施され、たくさんの方の来場者で賑わいました。

また、特別企画として「大学の将来について語ろう」が実施され、貴島学長、竹山学生自治会執行委員長がそれぞれの立場で大学に対する夢について語り、意見交換なども行われました。



沖縄県人会によるエイサーの演舞

TOPICS 6

本学主催の合同企業
面談会を開催

3年生の就職活動が解禁!

学生の就職戦線を大学も全力で支援

学生の就職支援を目的に来春卒業予定者(現3年生)を主対象とした長崎総合科学大学主催の合同企業面談会(A日程)が12月19日、ホテルニュー長



模擬店も大賑わい

2日目はあいにく雨に見舞われたものの、学園祭期間中、「高校生アイデアコンテスト表彰式」「経営情報学科のホームカミングパーティー」「外国語スピーチコンテスト」など多彩な催しも実施されました。



会場の様子



面談の様子

崎で開催されました。今年で14年目。九州圏外の企業を中心に全国から41社が参加し学生も3年生を中心に約200名の参加がありました。各ブースでは、採用担当者の説明を学生が真剣な表情でメモを取りながら話を聞いていました。また本学出身の採用担当者も多く、学長をはじめ教員も多数出席し、企業との情報交換に積極的にブースを訪ねていました。なお、2月には、主に九州圏内の企業を招き、同様の合同企業面談会(B日程)の開催を予定しています。

TOPICS 7

ロボコンサークル
「NiAS夢工房」が
「技能祭」ものづくり
フェスタ2013」に出展

毎年恒例の「技能祭」ものづくりフェスタ2013」が11月17日、長崎市浜町のベルナード観光通りで開催され、本学のロボコンサークル「NiAS夢工房」が出展しました。

このイベントはものづくりの楽しさや大切さを伝えるイベント。

本学の展示ブースでは「ロボットを操縦してみよう」と題して、NHK大学ロボコン2013に出場したマシンと学園祭向けに製作したお掃除ロボットの操縦体験を実施し、子供たちや家族連れなど、たくさんの方が楽しく操縦を体験し、道行く人々の関心を誘っていました。



学生が製作したロボットは子ども達に大人気

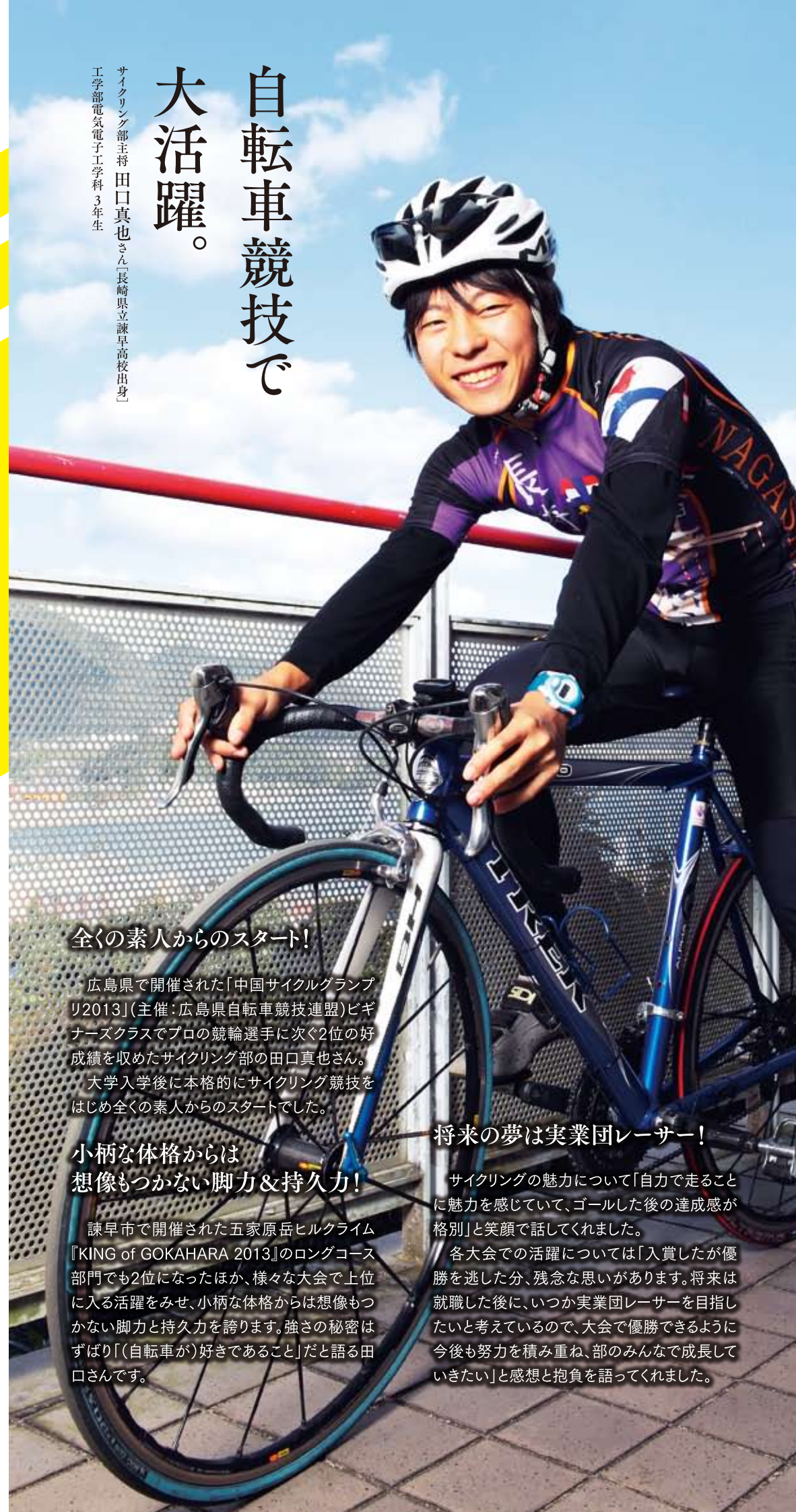


話・題・人

Close up People

自転車競技で 大活躍。

サイクリング部主将 田口真也さん「長崎県立諫早高校出身」
工学部電気電子工学科 3年生



全くの素人からのスタート!

広島県で開催された「中国サイクルグランプリ2013」(主催:広島県自転車競技連盟)ピギナースクラスでプロの競輪選手に次ぐ2位の好成績を収めたサイクリング部の田口真也さん。大学入学後に本格的にサイクリング競技をはじめ全くの素人からのスタートでした。

小柄な体格からは想像もつかない脚力&持久力!

諫早市で開催された五家原岳ヒルクライム「KING of GOKAHARA 2013」のロングコース部門でも2位になったほか、様々な大会で上位に入る活躍をみせ、小柄な体格からは想像もつかない脚力と持久力を誇ります。強さの秘密は「(自転車が)好きであること」だと語る田口さんです。

将来の夢は実業団レーサー!

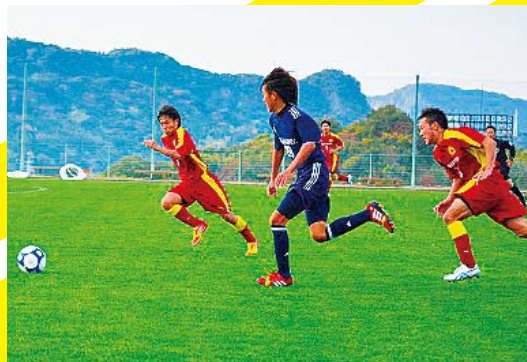
サイクリングの魅力について「自力で走ることに魅力を感じていて、ゴールした後の達成感が格別」と笑顔で話してくれました。各大会での活躍については「入賞したのが優勝を逃した分、残念な思いがあります。将来は就職した後に、いつか実業団レーサーを目指したいと考えているので、大会で優勝できるように今後も努力を積み重ね、部のみならず成長していきたい」と感想と抱負を語ってくれました。



大学サッカー部 九州各県大学サッカーリーグ決勝大会で準優勝!!



準優勝した大学サッカー部の皆さん



決勝戦、激しくボールを奪い合う両チーム

「九州各県大学サッカーリーグ決勝大会」が11月30日、12月1日の両日、鹿児島県霧島市の国分運動公園で8大学が参加し開催され、今年度長崎県大学サッカー秋季リーグに優勝した本学サッカー部が準優勝。
12月15日に宮崎県で実施された宮崎大学との九州リーグ昇格を懸けた入れ替え戦では1対1の引き分け。規定により残念ながら九州リーグ昇格は次年度以降に持ち越しとなりました。
本学サッカー部は、監督に元V・フアレン長崎の八戸寿憲氏を3年前に迎え本格的な強化を開始。今年度は、

昨年全国高校サッカー選手権大会に初出場でベスト16の活躍を見せた本学附属高校のメンバーも多数加入し、チーム力が向上。次年度以降の更なる活躍と九州リーグ昇格に期待が高まります。



九州各県大学サッカーリーグ決勝大会でチームの4ゴールを決めた東選手



頼まれなる反射神経で好セーブを連発したゴールキーパーの田中選手



九州各県大学サッカーリーグ決勝大会の準決勝戦前半からチャンスをもたに出来ずに苦しい試合だったが、後半、阿満選手の先制ゴールが決まり抱き合って喜ぶメンバー



試合前の集合写真



ハーフタイムに指示を出す八戸監督(右)



表彰状を受け取る本多副主将



長崎県秋季リーグ優勝決定後、町田主将の胸上げ



優勝がかかった長崎大学経済学部戦知念選手(右)が先制ゴールを決める知念選手はこの日2ゴールの活躍

大学サッカー部は今年度「長崎県大学サッカー秋季リーグ」において、4戦全勝でリーグ優勝を果たしました。リーグ戦では全試合無失点の圧倒的な強さを見せました。

長崎県大学 サッカー秋季リーグ優勝!!

九州各県大学サッカーリーグ決勝大会結果			
1回戦	長崎総合科学大学 得点者/阿満2、知念1、東3、橋口1、酒井1	8-0 (4-0) (4-0)	宮崎公立大学
準決勝	長崎総合科学大学 得点者/阿満1、東1	2-0 (0-0) (2-0)	鹿児島大学 医学部歯学部
決勝	長崎総合科学大学	0-3 (0-1) (0-2)	東海大学熊本
九州リーグ2部入れ替え戦結果			
	長崎総合科学大学 得点者/山田1	1-1 (1-0) (0-1)	宮崎大学



体育祭&文化祭

TOPICS 2

9月7日、体育祭が行われました。あいにく雨交じりの曇り空でしたが、無事、最後のプログラムまでやり通すことができました。10月24日午後と25日には文化祭が開催され、オープニングでは、今人気急上昇の男性5人組オペラユニットLEGEND(レジェンド)を招いてのコンサートが行われました。その他、上演やバザーなどで盛り上がりました。



附属高校サッカー部が
全国高校サッカー選手権長崎県大会2連覇達成!!
全国高校サッカー選手権大会に連続出場!

TOPICS 1

長崎県大会決勝戦 先制ゴールが決まり大喜みのポーズ!



全校応援でスタンドも盛り上がりました



見事2連覇を達成した附属高校サッカー部

サッカー部が「全国高校サッカー選手権大会長崎県大会(主催:長崎県サッカー協会ほか)」決勝戦で鎮西学院高校に3対0で勝利し、優勝!



9月に開催された九州地区高校野球長崎大会。野球部は初戦で夏の大会準優勝の強豪、長崎日本大学高校と対戦。2対1の9回サヨナラで劇的な勝利をおさめました。2回戦では九州大会に出場した波佐見高校に惜敗しましたが、来年夏の甲子園出場を目指し、日々努力を重ねています。

九州地区
高校野球長崎大会で
強豪校に快勝!

TOPICS 3



長崎日大戦、9回サヨナラ勝ちで喜びに沸く選手達

長崎県高等学校
駅伝大会で大躍進

TOPICS 4

長崎県高等学校駅伝大会が11月6日、雲仙小浜マラソンコースで開催され、男子の部(7区間42・195km)に附属高等学校がサッカー部員のみで結成したチームで出場し、44校中18位と大健闘しました。附属高等学校は陸上部員がいないことから、サッカー部の1、2年生部員のみでチームを編成し、毎年この大会に出場。本格的な駅伝練習はほとんどできなかった中で、昨年の32位からの大躍進を遂げました。



18位でゴール



4区から5区への中継の様子



1区での力走



キャンパス再配置計画で7月より附属高校が移転するシーサイドキャンパス



中間服

冬服

新しく生まれ変わる女子の制服

校舎移転と
女子の新制服について
来年夏より附属高等学校はキャンパス再配置計画により、シーサイドキャンパスに移転することが決定しました。現在、その準備を進めているところです。また、4月より女子の制服が新しく生まれ変わります。

TOPICS 5



1年生・松村優太郎さん



2年生・國場剣咲さん

東京国体に
サッカー部より
2名が出場し活躍
第68回国民体育大会(9月28日〜10月14日)の少年男子サッカーの部に本校サッカー部の國場剣咲さん(2年・FW)と松村優太郎さん(1年・GK)が長崎県代表に選出され出場しました。長崎県チームはベスト8進出の活躍を見せました。

「第92回全国高校サッカー選手権大会(平成25年12月30日〜平成26年1月13日)」へ2年連続出場を果たしました。この日は全校挙げての応援でスタンドも生徒、教職員、保護者、卒業生など一体となり選手を盛り上げました。

新しいNiAS
無限の可能性

NiAS Reborn



2014年4月
2学部2学科8コース制 START!
～キャンパス整備も着々と進む～

改装された8号館



8号館1階に設けられたコミュニティスペース

8号館1階に設けられたコミュニティスペースは、1階には新たにコミュニティスペースが設置され、無線LAN環境も整備されました。

本学では、21世紀循環型社会に貢献する人材の育成を掲げ、平成26年(2014年)4月から、これまでの学部学科組織を改編し、コース制を導入します。ものづくりの知恵と技を深く広く学び、グローバルに活躍できる新しいものづくり人材を育成します。

そのためのキャンパス整備も現在、着々と進んでいます。総合情報学科マゼンメント工学コースと生命環境工学コースの学生の学び舎となる8号館(現経営情報学科棟)も改修工事が終了。外壁、講義室の環境整備、トイレ等がリニューアルされ、1階には新たにコミュニティスペースが設置され、無線LAN環境も整備されました。



野呂 龍仁

- ④ 附属高等学校 / 常勤講師
- ⑥ サッカー、散歩
- ◎ 生徒の成長と、サッカー部の発展のために、全力を注ぎたいと思っています。よろしくお願いします。



柴田 守

- ④ 共通教育センター / 准教授
- ⑥ 街散策
- ◎ 法律系の共通教育科目を担当いたします。みなさんと一緒に、勉強していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

New Staff Interview

新たにスタッフとなった教職員を紹介します。
④所属・職名 ⑥趣味・特技 ⑦抱負など一言

公開講演会

新しくコース制の導入を記念して、「未来をひらく先進的な研究開発の最前線」と題した講演会を開催しました。特別講演として、携帯電話やパソコンなどに用いられるリチウムイオン電池の発明者の一人、吉野彰氏(旭化成㈱フェロー、日本化学会フェロー)をお招きし「リチウムイオン電池の黎明から開発、そして未来」について講演いただきました。吉野氏はリチウムイオン電池のこれからと未来技術について、現在すでにE.T革命と称する資源環境エネルギー革命が世界で起ころうとしていることに触れ、「この革命とリチウムイオン電池は大きく絡んでおり、研究者は困難に立ち向かい研究・開発の努力を続け、市場拡大につなげられるかが問われる時代である」と訴えました。



吉野氏による特別講演



木下氏による特別講演

コース制導入記念講演会 研究開発の最前線

12/7 長崎原爆資料館ホール

また、洋上風力発電など海洋エネルギー研究の第一人者である木下健氏(海洋エネルギー資源利用推進機構会長、東京大学名誉教授)より、「海洋再生可能エネルギー利用の現状と将来展望」について講演いただきました。木下氏は「我が国が今から積極的に技術開発をして、マーケットを立ち上げる必要があり、そのための仕組み作りと人材育成が重要である」と訴えました。

その後、本学が取り組んでいる研究開発について、6名の教員が発表し、最後に産業界からの期待と題して長崎経済同友会代表幹事の坂井俊之氏よりご挨拶をいただきました。坂井氏は「県内唯一の理工系私立大学である長崎総合科学大学の位置づけは貴重な存在であり、産業界の支えである」と本学に対する期待を述べられました。

会場には、企業、一般市民、学生など約220名が参加し、先進的な研究開発の現状について熱心に聞き入っていました。



熱心に聞き入る学生



坂井氏による挨拶



建築学科 公開講演会

住宅・建築の省エネルギーに関する行政と技術の動向

12/6 長崎歴史文化博物館ホール

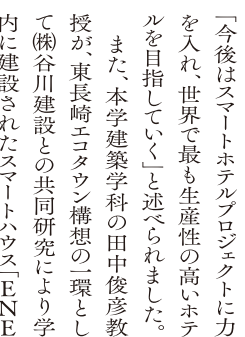
基調講演として、坂本雄三氏(独立行政法人建築研究所理事長)が「住宅・建築の省エネルギーに関する行政と技術の動向」と題し、エネルギー需要と省エネ施策の現状や住宅・建築の改正省エネ基準、省エネ技術の発展と普及について詳しく解説し、「エネルギーという制約から脱却していくことが大切だ」と訴えました。

次に、ハウステンボス(株)の早坂昌彦氏が「今後はスマートホテルプロジェクトに力を入れ、世界で最も生産性の高いホテルを目指していく」と述べられました。

また、本学建築学科の田中俊彦教授が、東長崎エコタウン構想の一環として(株)谷川建設との共同研究により学内に建設されたスマートハウス「E.N.E.ハウス」について紹介しました。最後に、3氏による公開討論が行われ、会場からも質問が寄せられました。



公開討論



坂本氏の基調講演

早坂氏の講演



早坂氏の講演



坂本氏の基調講演



平和文化講演会の様子



前泊氏の講演

前泊博盛氏(沖縄国際大学大学院教授、「琉球新報」元論説副委員長)を講師に招き、「オキナワから見据える日本の平和」と題して、日米安保と沖縄基地問題をめぐる課題について詳しく解説していただきました。前泊氏は最近制定された特定秘密保護法、米軍基地問題、日米地位協定問題など様々な角度から沖縄が関わる事例に触れ、「沖縄は犠牲になっている」と訴えました。質疑応答では、参加者から積極的な質問が多数寄せられました。

平和文化講演会

オキナワから見据える日本の平和

12/15 長崎市立図書館多目的ホール